



その場所の魅力を、一緒に伝えたい

Strolyディレクターが大切にしていること

今回登場するのは、Strolyの制作チームでディレクターをしている久保さん。地図の制作から、クライアントとのやり取りまで幅広く担当する久保さんに、神戸市と取り組んだ「神戸ルミナリエ」のマップ案件の舞台裏と、普段のお仕事についてお話を伺いました。

- Q** まずは自己紹介をお願いします。
- A** 制作チームの久保です。ウェブ制作的な作業に加えて、クライアントと案件の方向性をすり合わせていく仕事をしています。流れで言うと、受注あるいはそれ以前のミーティングから参加します。マップにどんな情報を載せるかなどの制作の入口から、データ納品や更新・運用の説明といったフォローアップまでが守備範囲です。

- Q** 制作から完成後まで、クライアントと密に連携をとる役割なのですね。

- A** はい。必ず一回はミーティングをして「どんなものを作りたいか」「今後どんな情報が必要か」をすり合わせ、実際にロケハンで現地に行くことも。毎週打ち合わせしているクライアントもいます。

- Q** デイレクションで大事にしている「マイルール」はありますか？

- A** 極力、システムが絡まない範囲のことならなんとか実現してあげたい、というのは方針として持っています。ちょっと悪い癖かもしれませんが、「できるかも」と軽く言ってしまうがちで(笑)。自分で解決できそうな範囲は、まずやってみる。

- 久保さんが担当する「神戸ルミナリエ」のイラストデジタルマップは、2024年度にリリース。翌2025年度のアップデートにより、現地でのマップ利用者数は大きく増加し、マップ利用者の現地滞在時間の平均値も約4倍にまで伸びました。(次面に実証レポート)

- Q** 神戸ルミナリエのマップ制作・アップデートの経緯を教えてください。

- A** 神戸ルミナリエで行われていた「クーポンキャンペーン」。その参画店舗の情報がリスト形式で、わかりづらかった。それをマップにして、一目で分かるようにしませんかという提案から始まりました。初年度で素敵なマップが完成し、認知拡大だけでなく参画店舗を増やすことにもつながりました。2年目は「せっかくならイベント自体をもっと堪能してもらおう」と、主要なスポットだけでなく、離れたエリアの魅力が伝わるように設計したんです。神戸市さんおすすめの「ルート表示」や、スタンプラリーで巡る動機づけを加えました。



- Q** データ検証を見た時、率直にどう思われましたか？

- A** 正直、これほどデータが集まるとは思っていませんでした。スタンプラリーの効果を実感しましたね。神戸市さんが2年続けて導入してくれたことも大きいです。データを見て、反応を確かめて、さらによりコンテンツを作るというサイクルが実現できました。一番印象的だったのが、場所だけでなく、時間的な分散もあったこと。これはルミナリエならではの発見でした。来年は昼間のスポットを充実させるなど、ルミナリエの枠を少し広げる余地も生まれてきたと感じています。

- Q** 久保さんが思うStrolyの「強み」とは？

- A** 「デジタルならではの」の気軽さと便利さですね。そして既存のマップとは違い、「現地ならではの情報」が厳選されて載っている。これはなかなか他では得られない価値だなと思います。あとはやっぱり、エンドユーザーの移動傾向が見られることです。本来であればビッグデータを持っている会社から高いお金を払って買うようなデータが、基本料金の中に含まれている。

- Q** 最後に、StrolyTimesを読んでいる方へひとことお願いします。

- A** まずは「お気軽にご連絡ください」、これに尽きるかもしれません。いつも感じるのは、それぞれの場所に必ず魅力があるということ。人が少ない過疎的な場所であっても、都心であっても、その場所ならではの良さがある。それを一緒に伝えていきたいです。私たちがしっかりサポートしますので、ぜひ一度お話しさせてください。

世界に羽ばたく Stroly

Strolyは、4月に開催された国際スタートアップ展示会「SusHiTech Tokyo 2026」と、地理空間情報分野の展示会「ジオ展」に出展しました。SusHiTechでは国際展示会で多くの来場者にサービスを紹介し、ジオ展では開発チームを中心にStrolyの説明や利用者との交流を実施。多くの方にStrolyを知っていただく貴重な機会となりました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



SusHiTechでは、東京都の宮坂副知事、松本副知事にもブースにお立ち寄りいただきました。



ジオ展には開発チームを中心に出展しました。

“ Stroly の活用例

Strolyは、地域活性化や課題解決に貢献する、強力なツールです。都市・観光・イベントなど、あらゆる”人流課題”に適用できます。

- 1 エリアマネジメント**
商業施設の回遊性向上。
周辺地域との連携や経済波及
- 2 地方自治体**
観光誘致をはじめ、オーバーツーリズムなどの課題解決。公式情報の多言語発信
- 3 大型イベント（博覧会・フェス）**
リアルタイムな混雑緩和、参加者の体験価値と利便性の向上
- 4 特殊環境（工事現場・工場内）**
汎用地図には存在しない、クローズドな空間の案内や、高度な安全管理

“ お問い合わせ先



資料ダウンロード

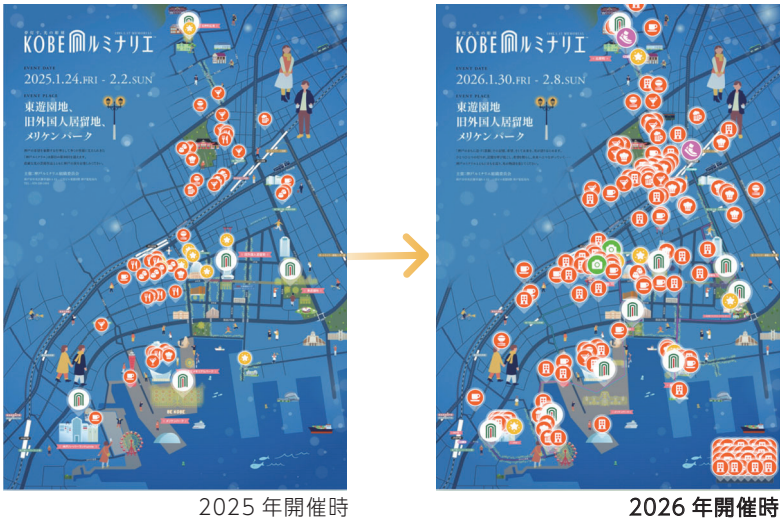


お問い合わせ

イラストデジタルマップが変えた、人の動き。神戸ルミナリエ 実証レポート 2026

「認知」から「回遊」へ。

「神戸ルミナリエ」は、阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂と、都市の復興・再生への希望を託して1995年12月に産声を上げました。以来、震災の教訓を次世代へと語り継ぎ、神戸の希望を象徴する行事として、今年で31年目を迎えました。Strolyは2年連続でイラストデジタルマップによる来場者体験をサポートしました。2025年版で「デジタルマップの認知」という基盤を確立し、2026年版では「エリア全体を巡る動線デザイン」へと大きく進化。その結果、人流データが驚くべき成果を証明しました。



2026年版 4つのアップデート

単なるナビではなく「体験を設計する」観点から4つの改良を実施。

- スポット情報の拡充 掲載スポット数を大幅増。街の多面的な魅力を可視化。
- 推奨ルートの明示 迷わず歩けるおすすめルートをマップ上に表示。
- デジタルスタンプラリー 象徴的なオブジェクトを巡る体験型コンテンツを導入。
- QRコード設置 現地オブジェクト横にQRを配置し、マップへのアクセスを容易に。

成果

広域回遊と滞在時間を4倍にした人流デザイン之力

北野・新港町の人流データ比較（メッシュ）



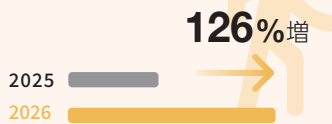
回遊エリアの拡大

昨年は来訪の少なかった北側エリアや波止場エリアへ、非常に多くの方が足を運んでいることが確認されました。人の動きを把握できるヒートマップを検証したところ、地図上に表示されたルートに沿って多くの方が動いたことが読み取れます。また、**スタンプラリー参加者の85%が「元々行く予定のなかった場所」を訪れた**と回答しており、点から面への回遊が実現しました。

滞在時間の向上

機能の充実と入口の拡大が相乗効果を生み、平均滞在時間（注1）は、去年が平均約20分だったのに対し、今年は平均約93分と、**約4倍にまで増加**。従来は点灯時間帯に人流が集中する傾向にありましたが、今回は点灯前から街を訪れる動きが目立ち、滞在時間の「時間的な広がり」もデータとして証明されました。

現地マップ利用者



平均滞在時間（注1）

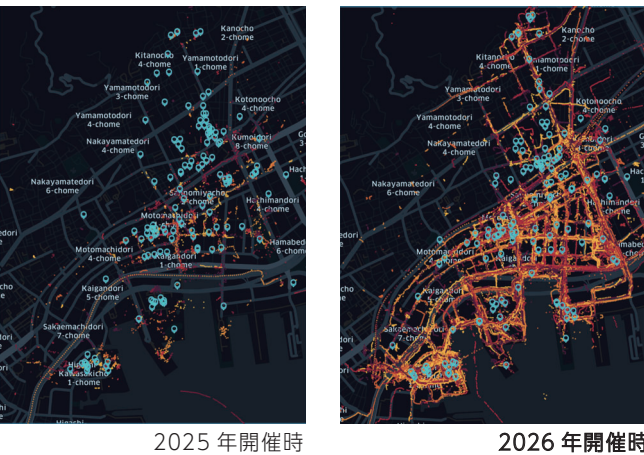


点灯前の活動活性化

昼間から人流が増加 — 滞在の「時間的な広がり」



0時～17時までの人流比較（詳細）



点灯前の早い時間帯から人の動きが活発化していることが判明。昼間はスタンプラリーを通じて神戸の観光を楽しみ、夜はルミナリエを鑑賞するという、一日を通した楽しみ方を後押ししたことがわかります。

滞在時間は4倍、利用者数は前年比126%増。これは、マップのデザインが人の動きを意図通りに変えた、確かな証です。Strolyのイラストデジタルマップは、エリアの可能性をやさしく、でも力強く引き出すパートナーです。観光地・都市開発・イベントなど、さまざまな課題と一緒に解決します。ぜひお気軽にお問い合わせください。

（注1）現在地表示機能を利用しているユーザーについて、位置情報（緯度・経度）の最初の取得時刻から最後の取得時刻までの時間差をもとに算出した滞在時間です。

※ 上記のデータについては、Stroly独自の検証結果となります。

Stroly Technology

誰でも簡単に使える「Strolyの編集画面」

Strolyのイラストデジタルマップは、専用の編集画面（エディタ）から、自治体や観光協会、企業の担当者自身で簡単に情報更新できる仕組みになっています。専門知識や難しい操作は不要で、パソコン操作に慣れていない方でも直感的に扱いやすいのが特徴です。公開後も必要なタイミングで情報を更新できるため、“育てていける地図”として多くの地域で活用されています。

【スポット情報の編集・追加】

観光スポットや店舗の名称、紹介文、写真などを簡単に登録・更新できます。新店舗の追加や営業時間変更にも柔軟に対応可能です。スポットの表示／非表示もワンタップで切り替えられます。

【多言語対応】

英語・中国語など複数言語で情報管理ができ、訪日観光客への情報発信にも活用されています。

【ステッカー機能】

桜や紅葉、ご当地キャラクターなどを地図上に配置し、季節感やイベント感を視覚的に演出できます。

【イベント登録】

祭りやマルシェなどのイベント情報を、スポットに登録。開催期間に合わせて表示できます。

【SEO・AIO対応】

検索エンジンに分かりやすいSEO対策に加え、生成AI検索を意識したAIO（AI検索最適化）にも対応しています。

ご利用のマップから地域の魅力を継続的に発信できる点も、Strolyの強みのひとつです。

“ ユーザーの声

ユーザーの声から見えた“まち歩き”の広がり

京都・梅小路おさんぽマップ 春季スタンプラリーでは、Strolyを通じた新しいまち歩き体験の声が多く寄せられました。

50代 / 女性 神奈川県のユーザー
何度か訪れているエリアでしたが、今回初めて知る場所も多く、新しい発見を楽しめました。

40代 / 女性 大阪府のユーザー
水族館や鉄道博物館などの定番スポット以外にも、徒歩圏内で知らなかった場所やお店を発見できて面白かったです。

30代 / 男性 京都市のユーザー
スタンプを集めながら歩くことで、自然といろいろなスポットを巡ることができました。

30代 / 女性 長岡京市のユーザー
毎回通っていた道も、一筋入るだけで知らなかった観光地やお店があり、地図を見ているだけでも楽しかったです。

50代 / 女性 兵庫県ユーザー
京都駅周辺だけでなく、少し足を伸ばして街歩きできたのが良かったです。



プロデュース： [Stroly](#)

EHIME / MATSUYAMA

2026 年 4 月 リリース

道後温泉と城下町松山市 満喫デジタルマップ／ 松山 NightDining & Bar マップ

松山の昼夜を 1 タップで。
関連マップで広がる旅の楽しみ

愛媛県松山市で、昼と夜それぞれの楽しみ方を提案する 2 つのデジタルマップが同時公開されました。「道後温泉と城下町松山市満喫デジタルマップ」は、松山城・坂の上の雲ミュージアム・子規堂などの城下町スポットと、道後温泉本館・飛鳥乃湯泉のある道後温泉エリアという、離れた二つのエリアを一枚で網羅。観光名所や手湯・足湯の外観が丁寧に描き込まれ、見るだけで街の空気感が伝わるイラストマップで、日英中韓の 5 言語に対応しています。もう一方の「松山 NightDining & Bar マップ」は、城下町の夜のグルメに特化。瀬戸内の鮮魚と地酒が自慢の居酒屋、鉄板で焼く三津浜焼の店、愛媛産素材のオリジナルカクテルが味わえるバーなどが揃い、平均客単価や支払い方法、言語対応まで丁寧に紹介。はじめての店でも安心して飛び込めます。両マップは「関連マップ」機能からワンタップで切り替え可能。昼は史跡や温泉巡り、夜は城下町の食べ歩きへと、シーンに応じて行き来しながら松山観光を満喫できます。

Stroly Technology

「Strolyのオプション機能」

Stroly では、デジタルマップをさらに便利に活用できるオプション機能もご用意しています。観光周遊の促進や利用状況の詳細分析など、さまざまな場面で活用いただけます。

【スタンプラリー機能】

スポット巡りを楽しく促進。周遊イベントにも活用可能。チェックポイントを巡る体験を通じて、参加者の回遊促進や滞在時間の向上にもつながります。

【電子クーポン表示】

地域店舗と連携し、観光消費のきっかけづくりに。マップ上からそのままクーポンを確認できるため、来店促進や地域経済活性化にも効果的です。

【おすすめルート表示】

テーマ別・季節別など回遊モデルを分かりやすく案内。初めての来訪者でも迷わず回遊しやすく、周辺スポットへの立ち寄り促進にもつながります。

【リアルタイムロケーション表示】

バスや船などの現在地を地図上に表示。お神輿の現在地表示に活用した事例もあります。来訪者への案内強化や運行状況の可視化にも役立ちます。

【分析用詳細データの提供】

端末の移動経路などのより詳細なデータレポートも提供可能です。事前相談により、「どんなデータを見たいか」に合わせた集計・分析にも対応できます。

Strolyの [散](#) [策](#) [コ](#) [ラ](#) [ム](#)

「ご自由にお持ち帰りください」という貼り紙とともに、家にある余りものを軒先に出しておく文化がある。京都に限った話ではないかもしれないが、少なくともこの街では珍しくない。

Stroly の本社は京都駅からほど近い住宅街の中にある。ところがこの界限では、その「ご自由に」はたいてい植物だ。

最近遭遇したのは、江戸風情というアサガオの種。達筆な字で、植える時期と開花時期、そして「おひとり一袋お持ち帰りください」と書かれた貼り紙が添えられ、ひっそりと置かれていた。数年前には別のお宅でオジギソウの苗が配られていたこともある。

それにしても、なぜこの界限はこんなに植物が溢れているのだろう。近くにある某種苗屋の社員さんが住んでいるのか？だから軒先ガーデンが盛んで、植物のおすそわけも自然と広まっているのではないかな？——そんな根拠のない妄想が、するすると膨らんでいった。誰かの小さな愛が、見知らぬ人の景色をそつと変える。そんな地図を作れたらと、常々思っている。



プロデュース：一般社団法人 BOOT

FUKUSHIMA / NISHIAIZU

2026 年 2 月 リリース

「渡邊義孝が選んだ」西会 津古建築 MAP

ステッカー機能が支える、
生きた古建築アーカイブ

福島県西会津町で、建築家・渡邊義孝氏が選定した歴史的建造物を紹介する「西会津古建築 MAP」が公開されました。氏が一点一点描き下ろした緻密なイラストと解説文が、地域の文化遺産の魅力を視覚的に伝えます。現在も住居として使われる建物のプライバシー保護にも配慮しつつ、Stroly のステッカー機能を活用することで季節ごとのイラスト差し替えや新スポットの追加など柔軟な運用を実現しています。このプロジェクトは、見逃されがちだった古建築という文化財に光を当て、建築ファンや歴史愛好家など新たな来訪者の獲得とともに、地域住民の土地への愛着を深め、次世代へ地域のアイデンティティを継承する意識の醸成にも貢献することが期待されています。

人々の「行動変容」を起こす、イラストデジタルマップ

Stroly

『Stroly』は、世界観を感じられるわかりやすいイラストを通じて、そのエリアのワクワクする情報に「出会って・知って・体験する」までを徹底的にガイドするマッププラットフォームです。プラットフォームには、すでに 13,000 種類のイラストデジタルマップが存在しており、観光地や開発エリア、古地図、お祭りなどの世界各地のオリジナルマップを見ることができます。さらに、マップの閲覧情報を元に、人流データや利用情報を可視化でき、デザインとデータの力で継続的に課題解決に寄与します。

従来の地図



効率的なナビゲーション

Stroly



体験と動きを設計するUI



表現豊かなイラスト地図 x 位置情報



縮尺が異なるイラスト地図にも、現在地を正確に表示。自由な表現でエリアの魅力をあらゆる角度から伝え、人の流れもデザインできる。

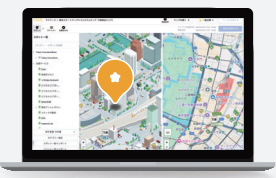
国内・海外
技術特許
Patented Tech
Innovation

人の動きの変化を、データで証明する。



位置情報のログを蓄積・分析し、マップが実際に人の動きを変えたことを数値で示せる。

エディターで簡単に情報を更新



専用の編集ツールから、スポット情報やイベントをいつでも即座に更新可能。専門知識は不要で、運用コストを大幅に削減できる。

多言語対応・スタンプラリーで、体験をデザインする



端末の言語設定に合わせて、自動で表示言語を切り替え。スタンプラリーも位置情報を活用しマップ上でシームレスに開催できる。

Hello
안녕
Hola
你好

詳しくはこちらに問い合わせ下さい。



Stroly ビジネスページ
イラストデジタルマップのご相談
<https://biz.stroly.com>





Stroly プラットフォーム
さまざまなイラストデジタルマップをみる
<https://stroly.com/ja>





Stroly 最新リリース
情報はこちら



地図を通して世界をつなぐ Stroly、その歩みと未来

2017 年、Stroly（ストローリー）は産声を上げました。世界中から集まった個性豊かな地図は、今では 13,000 点を超えています！企業や自治体との連携も拡大中。

地図を通して、人々をつなぎ、地域を活性化し、世界を笑顔にする。それが Stroly の目指す未来です。

“ 特許技術・受賞履歴

- 登録特許 国内6件、海外(米国、中国)4件
- 日経クロストレンド「2024年 未来の市場をつくる100社」に選出
- 第10回Webグランプリ「Web人賞」受賞
- SXSW2019 Pitch Finalist に日本企業として初選出
- 4年連続SXSW公式マップスポンサー
- J-Startup企業に選定
- 東京都キングサーモン事業2023年度採択
- 関西財界セミナー賞 2026「輝く女性賞」受賞
- Forbes JAPAN「Women In Tech 30 2026」に選出

“ 編集後記

今回の StrolyTimes の制作を通じて印象的だったのは、一つのマップが公開されるまでに多くの工夫や試行錯誤が重ねられていること、そして公開後もデータや利用者の声から新たな発見が生まれ続けていることでした。取材の中では、制作者が意図した見せ方と実際の利用傾向との違いや、想定外のスポットへの関心など、数字だからこそ見えてくる興味深いエピソードにも触れることができました。本誌が、皆さまの取り組みを振り返り、次のアイデアを考えるきっかけになれば幸いです。



2026 年 7 月発行 発行元：株式会社 Stroly

所在地



本社
〒600-8258
京都市下京区猪熊通塩小路 上金換町 109 番地 1

大阪オフィス
〒541-0044
大阪府大阪市中央区伏見町 3-6-3 三菱 UFJ 信託銀行
大阪ビル 1F・2F MUIC

東京オフィス
〒104-0031
東京都中央区京橋 2 丁目 2-1 京橋エドグラン 3 階 SENQ 京橋